



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月20日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男 TEL 03-3440-6100  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,517	217.6	542		470		364	
2019年3月期	1,422	32.4	408		403		408	

(注) 包括利益 2020年3月期 365百万円 ( %) 2019年3月期 410百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	38.56		68.8	29.5	12.0
2019年3月期	43.25		74.0	37.4	28.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	2,294	712	31.1	75.40
2019年3月期	894	347	38.9	36.77

(参考) 自己資本 2020年3月期 712百万円 2019年3月期 347百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,101	76	217	1,575
2019年3月期	213	37	2	332

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00				
2021年3月期(予想)		0.00		0.00				

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示します。  
 詳しくは添付資料P.3'1.経営成績等の概況(4)今後の見通しをご参照ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	9,456,500 株	2019年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,004 株	2019年3月期	912 株
期中平均株式数	2020年3月期	9,455,570 株	2019年3月期	9,455,608 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	340	60.4	141	813.3	84		124	
2019年3月期	212	4.4	15	36.7	3	84.6	2	79.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	13.18	
2019年3月期	0.23	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,175	575	49.0	60.86
2019年3月期	680	450	66.2	47.69

(参考) 自己資本 2020年3月期 575百万円 2019年3月期 450百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境や個人消費に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いているものの、通商問題や新型コロナウイルス感染症拡大の影響など、先行きは当面不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション（「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」）の開発及び販売に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,517百万円（前期比217.6%増）、営業利益542百万円（前期は営業損失408百万円）、経常利益470百万円（前期は経常損失403百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益364百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失408百万円）となりました。

(単位：百万円)

	当期 (連結)	前期 (連結)	前期比	
			増減額	増減率
C & S 事業(*)	1,003	785	218	27.8%
サービス事業	3,384	497	2,887	580.9%
ECソリューション事業	129	139	△10	△7.5%
調整額	-	-	-	-
売上高	4,517	1,422	3,095	217.6%
C & S 事業(*)	△237	40	△277	-
サービス事業	1,043	△198	1,242	-
ECソリューション事業	0	9	△9	△91.7%
調整額	△264	△260	△3	-
営業損益	542	△408	951	-
経常損益	470	△403	873	-
親会社株主に帰属する当期純損益	364	△408	773	-

(\*) C &amp; S 事業：コンサルティング&amp;ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① コンサルティング&amp;ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

大型の基幹システム開発案件の進捗遅れ等により、受注損失引当金繰入額76百万円を計上し、減益となっておりますが、本システム開発は数年掛かりの大型案件であり、稼働開始後のシステム保守の受注も見込まれることから、工程全体での収益化を見込んでおります。

以上の結果、売上高は1,003百万円（前期比27.8%増）、営業損失は237百万円（前期は営業利益40百万円）となりました。

## ② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売に注力いたしました。

当期に「Incredist Trinity Mini」の大型納品があったことにより、大幅な増収増益となっております。

以上の結果、売上高は3,384百万円（前期比580.9%増）、営業利益は1,043百万円（前期は営業損失198百万円）となりました。

## ③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

引き合い状況は堅調であります。受注した案件が来期に後ろ倒しになった影響により、前期比で減収減益となっております。

以上の結果、売上高は129百万円（前期比7.5%減）、営業利益は0百万円（前期比91.7%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,400百万円増加し、2,294百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加(1,243百万円増)及び、前渡金の増加(136百万円増)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1,034百万円増加し、1,581百万円となりました。主な増減要因は、前受金の増加(371百万円増)、社債の増加(300百万円増)及び買掛金の増加(128百万円増)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ365百万円増加し、712百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の発生(364百万円)であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、主として税金等調整前当期純利益の計上、社債発行による収入並びに仕入債務の増加により、当連結会計年度末は1,575百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支得られた資金は1,101百万円(前期は213百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益461百万円の計上、仕入債務の増加128百万円及びたな卸資産の増加102百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は76百万円(前期は37百万円の支出)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出64百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は217百万円(前期は2百万円の支出)となりました。これは、社債発行による収入291百万円及び有利子負債の返済に伴う借入金の純減少74百万円等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
自己資本比率(%)	22.0	46.8	60.1	38.9	31.1
時価ベースの自己資本比率(%)	229.8	844.8	616.5	838.5	277.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	0.8	—	—	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	58.7	—	—	19.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2016年3月期、2018年3月期及び2019年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

コンサルティング&ソリューション事業においては、大手流通系企業向けの大型基幹システム開発が進行しており、また、サービス事業においてはキャッシュレスの流れが継続しており、引き合いは活況であり、内示いただいている商談も多数あります。

しかし新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、顧客企業側の投資計画、事業計画に変更があるかどうかなど、新型コロナウイルス問題に起因する影響を読み切れないため、現時点では業績予想の発表を控えさせていただきます。

受注状況が明確になった段階で、開示する方針です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,591	1,575,694
売掛金	129,212	227,110
商品	97,022	105,894
仕掛品	140,783	36,573
前渡金	43,856	180,229
その他	50,806	37,663
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	793,273	2,162,166
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,148	34,261
減価償却累計額	△17,444	△18,731
建物(純額)	14,703	15,530
工具、器具及び備品	111,764	142,277
減価償却累計額	△94,999	△103,340
工具、器具及び備品(純額)	16,765	38,936
その他	—	410
減価償却累計額	—	△159
その他(純額)	—	250
有形固定資産合計	31,468	54,717
無形固定資産		
その他	4,481	7,687
無形固定資産合計	4,481	7,687
投資その他の資産		
敷金及び保証金	58,359	66,740
その他	6,690	3,000
投資その他の資産合計	65,050	69,740
固定資産合計	101,001	132,146
資産合計	894,275	2,294,312

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,887	274,365
短期借入金	84,866	11,664
1年内償還予定の社債	—	96,000
前受金	13,442	384,594
未払消費税等	4,832	121,714
未払法人税等	7,460	104,573
受注損失引当金	16,700	76,700
その他	45,383	79,779
流動負債合計	318,576	1,149,391
固定負債		
長期借入金	209,455	208,621
社債	—	204,000
資産除去債務	14,916	17,078
その他	3,685	2,300
固定負債合計	228,056	431,999
負債合計	546,632	1,581,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△2,052,812	△1,688,217
自己株式	△1,360	△1,452
株主資本合計	346,749	711,252
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	892	1,668
その他の包括利益累計額合計	892	1,668
純資産合計	347,642	712,920
負債純資産合計	894,275	2,294,312

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,422,196	4,517,542
売上原価	1,194,790	3,267,663
売上総利益	227,405	1,249,879
販売費及び一般管理費	636,155	707,007
営業利益又は営業損失(△)	△408,749	542,872
営業外収益		
受取利息	1,711	61
為替差益	24,276	—
助成金収入	—	2,713
その他	754	296
営業外収益合計	26,742	3,071
営業外費用		
支払利息	21,053	56,434
支払手数料	24	17,402
その他	0	1,552
営業外費用合計	21,078	75,389
経常利益又は経常損失(△)	△403,085	470,554
特別損失		
減損損失	3,094	3,551
関係会社株式評価損	—	5,502
特別損失合計	3,094	9,054
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△406,179	461,499
法人税、住民税及び事業税	1,167	96,205
法人税等調整額	1,600	700
法人税等合計	2,767	96,905
当期純利益又は当期純損失(△)	△408,947	364,594
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△408,947	364,594



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△408,947	364,594
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,182	775
その他の包括利益合計	△1,182	775
包括利益	△410,130	365,370
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△410,130	365,370

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,205,123	1,195,798	△1,643,864	△1,299	755,758
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			△408,947		△408,947
自己株式の取得				△61	△61
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△408,947	△61	△409,008
当期末残高	1,205,123	1,195,798	△2,052,812	△1,360	346,749

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,075	2,075	757,834
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			△408,947
自己株式の取得			△61
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,182	△1,182	△1,182
当期変動額合計	△1,182	△1,182	△410,191
当期末残高	892	892	347,642

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,205,123	1,195,798	△2,052,812	△1,360	346,749
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			364,594		364,594
自己株式の取得				△91	△91
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	364,594	△91	364,502
当期末残高	1,205,123	1,195,798	△1,688,217	△1,452	711,252

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	892	892	347,642
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			364,594
自己株式の取得			△91
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	775	775	775
当期変動額合計	775	775	365,278
当期末残高	1,668	1,668	712,920

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△406,179	461,499
減価償却費	34,142	38,807
支払利息	21,053	56,434
売上債権の増減額(△は増加)	312,884	△97,898
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205,903	102,415
仕入債務の増減額(△は減少)	10,914	128,478
その他	△2,413	470,008
小計	△235,501	1,159,746
利息及び配当金の受取額	1,711	61
利息の支払額	△21,774	△57,335
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	41,650	△1,233
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213,914	1,101,238
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,017	△55,484
無形固定資産の取得による支出	△770	△9,222
敷金及び保証金の差入による支出	△2,786	△8,495
その他	199	△2,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,376	△76,007
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	33,595	△78,000
長期借入れによる収入	20,000	15,000
長期借入金の返済による支出	△55,885	△11,036
社債の発行による収入	—	291,425
その他	△61	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,351	217,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,627	574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△256,269	1,243,103
現金及び現金同等物の期首残高	588,860	332,591
現金及び現金同等物の期末残高	332,591	1,575,694

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業部を置き、各々が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンサルティング&ソリューション事業」、「サービス事業」及び「ECソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「コンサルティング&ソリューション事業」は、デジタル放送・デジタルメディア関連向けや地方自治体向けのシステムコンサルティングサービス、並びにJavaやRubyのソフトウェア技術を活用した地方自治体の電子政府化関連や地銀・一般企業向け各種システム開発を行っております。

「サービス事業」は、iPhone等スマートフォン上で「電子決済ソリューション」の利用を可能にするサービス基盤(プラットフォーム)の開発を行っております。

「ECソリューション事業」は、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売、並びに本パッケージ導入に係るコンサルティングやシステム開発及び保守を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	コンサルティング& ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	785,374	497,123	139,698	1,422,196	—	1,422,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	785,374	497,123	139,698	1,422,196	—	1,422,196
セグメント利益又は損失 (△)	40,227	△198,708	9,845	△148,635	△260,113	△408,749
セグメント資産	246,530	229,926	46,996	523,454	370,821	894,275
その他の項目						
減価償却費	1,106	30,468	361	31,936	2,206	34,142
減損損失	3,094	—	—	3,094	—	3,094
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,518	27,595	4,181	35,294	282	35,577

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産及びその他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	コンサルティング& ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,003,393	3,384,879	129,269	4,517,542	—	4,517,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,003,393	3,384,879	129,269	4,517,542	—	4,517,542
セグメント利益又は損失 (△)	△237,319	1,043,436	817	806,935	△264,062	542,872
セグメント資産	185,575	475,364	31,906	692,847	1,601,465	2,294,312
その他の項目						
減価償却費	877	35,305	677	36,859	1,947	38,807
減損損失	3,551	—	—	3,551	—	3,551
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,518	60,195	517	67,231	1,601	68,832

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産及びその他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	36円77銭	75円40銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△43円25銭	38円56銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	347,642	712,920
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	347,642	712,920
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	9,455,588	9,455,496
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属 する当期純損失(△)(千円)	△408,947	364,594
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△408,947	364,594
期中平均株式数(株)	9,455,608	9,455,570

(重要な後発事象)

該当事項はありません。